

高等学校日语教材

经贸日语

范崇寅 编著



大连理工大学出版社

高等学校日语教材

经贸日语

主 编 范崇寅

副主编 彭 杰

(本书配有录音磁带)

大连理工大学出版社

© 范崇寅 1999

图书在版编目(CIP)数据

经贸日语 / 范崇寅主编. — 大连: 大连理工大学出版社, 1999.1(2003.8 重印)

ISBN 7-5611-1543-1

I. 经… II. 范… III. 商业—日语 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(98)第 27026 号

大连理工大学出版社出版

地址: 大连市凌水河 邮政编码: 116024

电话: 0411-4708842 传真: 0411-4701466 邮购: 0411-4707961

E-mail: dutp@mail.dlptt.ln.cn URL: <http://www.dutp.cn>

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸: 140mm × 203mm 印张: 13.25 字数: 332 千字

印数: 12 001 ~ 15 000

1999 年 1 月第 1 版 2003 年 8 月第 4 次印刷

责任编辑: 杨 泳 王佳玉

责任校对: 方延明

封面设计: 金 中

版式设计: 石 佳

定 价: 16.80 元

前 言

随着社会经济的不断发展,在迎接知识经济时代到来的今天,经济问题已不单纯是经济问题,它已逐步渗透到人们的日常生活中来。因此,对于从事任何专业的人来说,掌握一些经济方面的知识,了解世界经济的动向,以适应现代社会对复合型人才的要求是非常必要的。另外,随着我国市场经济的不断发展,我国的国际商贸活动空前活跃。在华的日本独资或合资企业、商社、金融机构的数量增长迅速。对于那些在日资单位工作的业务人员来说,不断提高经贸日语水平便显得尤为重要。为了满足广大读者的需要,我们编写了《经贸日语》这部教材。

本书分四部分,共22课。内容主要涉及国际经济、贸易、金融、商法等方面。每课由正文、会话、相关例句、阅读、注释、单词及小知识构成。考虑到大专院校作为教材使用的需要并兼顾商贸业务人员及广大日语爱好者的不同需要,每课的会话、阅读均附有参考译文。译文基本上采用直译,以便于学员学习对照参考。

在编写时,参考了许多辞典、专著及报刊等,并引用了部分内容,为行文需要,对个别地方作了适当的删动。参考的书目主要有:

- 《经济用语辞典》第3版 金森久雄编 东洋经济新报社
- 《朝日キーワード 1998》朝日新闻社编
- 《日汉经济技术词典》郑鸣林主编 中国科学技术出版社
- 《英日汉外汇用语辞典》赵良等编译 中国金融出版社
- 《日汉大辞典》陈涛主编 机械工业出版社
- 《国际经济の読み方》新飯田宏著 东洋经济新报社

《貿易論を学ぶ》 吉信肅編 有斐閣
《貿易実務》 石田貞夫著 日本経済新聞社
《テキストブック貿易実務》 来往哲二編 有斐閣
《貿易契約の基礎》 中村弘著 東洋経済新報社
《バブルの経済学》 飛岡健著 実業之日本社
《景気状況の探り方》 野村信広著 自由国民社
《外為相場とディーリング》 山本圭民著 経済法令研究会
《証券論 25 講》 神木良三等著 晃洋書房
《反撃》 テテファン・ラコーエン著 福武書店
《新版商法概説》 大隅健一郎等著 有斐閣双書
《商業法規》 田中誠二 一橋
《ビジネス中国語マニュアル》 藤本恒 岡本篤子編著 東方書店
《実習ビジネス中国語—商談編》 張乃方 星博人共著 白水社

参考的期刊有:《日本経済新聞》、《経済評論》、《貿易と関税》等。

本书在编写过程中,曾得到许多日本驻大连商社办事处的朋友、日籍教师以及国内师长们的热情帮助,在此一并表示深深的谢意。

由于编者水平有限,时间仓促,难免有疏漏和错误之处,欢迎同行、专家批评指正。

編 者

1998 年 8 月

目 次

経済編

第一課	本文:国際経済をどう読むか	1
	会話:出迎え	7
	閲読:現行の国際経済秩序	9
第二課	本文:一、アジア危機、これからの課題	20
	二、戦後最大の経済危機	22
	会話:見送り	26
	閲読:東アジアの経済成長と域内市場	28
第三課	本文:地域統合の新理論	38
	会話:商品及びメーカーの紹介	43
	閲読:NAFTA 合意	45
第四課	本文:国際競争力の源泉にも	55
	会話:引き合い	61
	閲読:域内協力の枠組み必要に	63
第五課	本文:バブル発生の構造	71
	会話:オッファー	76
	閲読:バブルはなぜ起こったか	79

貿易編

第六課	本文:変貌する世界貿易環境	85
	会話:注文	91
	閲読:根底から揺らぐガット体制	93

第七課	本文:日本の貿易構造——輸出構造	101
	会話:価格交渉	105
	閲読:日本の貿易構造——輸入構造	107
第八課	本文:売買条件の取り決め	115
	会話:コミッション	119
	閲読:貿易実務の戦略	121
第九課	本文:輸出実務の概要(上)	129
	会話:支払い条件	134
	閲読:輸出実務の概要(下)	136
第十課	本文:FOBとCIF	145
	会話:船積み	150
	閲読:信用状	152
第十一課	本文:輸入実務の概要(上)	159
	会話:包装	163
	閲読:輸入実務の概要(下)	166
第十二課	本文:不可抗力約款	173
	会話:保険	177
	閲読:保険証券	180

金融編

第十三課	本文:成長戦略の是正カギに	186
	会話:契約	191
	閲読:一、通貨切り下げ競争回避を	193
	二、金融セクターの競争力	196
第十四課	本文:国際収支と国際収支表	201
	会話:クレーム	206
	閲読:金融政策と景気	208
第十五課	本文:景気対策急務に	216

	会話:輸入(一)	221
	閲読:企業金融の構造と変化	224
第十六課	本文:外国為替取引の基礎	230
	会話:輸入(二)	233
	閲読:外国為替市場	236
第十七課	本文:株式の本質と種別化	245
	会話:輸出(一)	249
	閲読:株式取引所取引の特質	251
第十八課	本文:有価証券の概念と機能	259
	会話:輸出(二)	262
	閲読:証券発行の諸形態	265

商法編

第十九課	本文:商法の基本概念および特色	272
	会話:合併企業	277
	閲読:商法の意義	280
第二十課	本文:法律行為と意思表示	285
	会話:補償貿易	290
	閲読:契約の成立とその種類	292
第二十一課	本文:商人	298
	会話:加工貿易	302
	閲読:商業帳簿	304
第二十二課	本文:訴訟	311
	会話:三国間貿易	316
	閲読:予防の司法制度	318
附录Ⅰ	会話参考译文(第一课~第二十二课).....	325
附录Ⅱ	閲読参考译文(第一课~第二十二课).....	344
附录Ⅲ	国际贸易术语英文缩写.....	409

経 済 編

第 一 課

【本 文】

国際経済をどう読むか

現在の時点で国際経済上の最も重要な経済問題は何かと問われれば、私は躊躇なく、二つの対外不均衡問題をあげます。一つは先進国間の、特に日米間を中心とする経常収支の不均衡是正の問題であり、もう一つは発展途上国の累積債務問題です。強いて言えば、前者が短期的な対外不均衡問題、後者がやや長期的な対外不均衡問題といえるでしょう。しかも、これらの問題の解決は簡単ではなく、今後かなりの期間、国際経済の主要問題となり続けると考えられます。

さて次章以下の本題に入る前に、ここではこの二つの不均衡問題の輪郭を簡単に説明しておきましょう。

1. 経常収支の不均衡

わが国の経常収支の黒字が目立って拡大し始めたのは、1983年からですが、1986年にはついに860億ドル、対GNP比で4.5%という記録的な水準に達しました。この大幅黒字がアメリカの経常赤字とならんで、世界経済の不安定要因であるかどうかは、若干意見の分れるところですが、石油ショック時のOPEC(産油国)の衝撃的な大幅黒字を一つの尺度として評価してみましょう。OPEC全体の経常黒字が最大となったのは、1980年の1100億ドル、一国としては同年のサウジアラビアの414億ドルです。したがって860億ドルという1986年の日本の黒字幅は、ほぼ第二次石油危機発生時のOPEC全体の黒字額に迫る額ですし、当時のサウジアラビアの黒字幅の実に2倍を越える金額なのですから、いかに巨額であるかは容易に想像できるでしょう。もう一つ、GNPとの関係で比較しておけば、860億ドルは発展目覚ましい韓国の現在のGNPを実は上回る数値なのです。簡単に言えば、1986年の日本経済は、対外的な財貨・サービスの取引の差引き(ネット)分だけで、ほぼ韓国のGNPに相当する生産額を稼ぎ出したことになります。もちろんこの数値は、日本の国際収支史上でも空前の大幅黒字であることはいうまでもありませんが、87年もこの値に近い黒字になることが事実です。

他方、アメリカの経常収支は、1986年には1480億ドルの大幅赤字となりました。アメリカでは日本とは逆に、対外的な財貨・サービスのネットの取引だけで、ほぼオランダのGNPに相当する生産額を外国に支払ったことになります。すなわち、アメリカはこの分だけ生産した以上に消費したわけです。しかもこのとき、アメリカは完全雇用の状態ではありませんので、生産に要する資源(労働や資本)を自国内で遊休させ、失業させていたことになります。アメリカの経常収支の赤字が1000億ドルの

大台を越えたのは1984年からです、赤字は拡大し続け、87年の赤字も1500億ドルを越えるのではないかと予測されています。

さて、世界史上稀な日本の大幅黒字の存在を契機として、日本に対する貿易摩擦・経済摩擦が深刻さを増していることはよく知られているとおりです。経済摩擦の内容は後に述べるように、個別企業や特定産業、さらには行政組織までを含めたミクロ的な問題を中心に複雑多岐ですが、経常収支の大幅不均衡がミクロの摩擦問題を増幅しているといつてよいでしょう。経済大国アメリカをもってしても現在のような大幅な経常収支の赤字を続けることは、雇用面からも不況対策の面からも、そして将来にわたる利子負担からも、決して軽いものではありません。現実問題としても、現在のような経常赤字が縮小しないときには、やがてドル不信は決定的となり、ドルの暴落の危険が生じると考えられます。この国際通貨不安が国際経済に与える影響は単純に考えただけでも、アメリカへの資金流入の減少、アメリカ市場金利の上昇、インフレの進展などが考えられます。ドルの急落・金利上昇・インフレーションの国際的波及は、世界経済にとって、金融・資本市場の不安定要因に止まらず、実態経済を不況に追い込む不安定要因に他なりませんから、その解決をいつまでも先に伸ばせるような悠長な問題ではないのです。

こうした中で、日本だけが一方的な経常収支の黒字を続けるとすれば、日本への風当たりが増すのはむしろ当然でしょう。深刻な経済摩擦の基本的な背景には、日本経常収支の大幅な黒字問題が必ずあるのです。現在の時点で、最も重要な国際経済問題ということになれば、この対外不均衡問題をあげないわけにはいきません。大幅な対外不均衡の原因はどこにあるのか、不均衡は自然に解消するのか、解消しないとすればどのような

対策を用意すべきなのか、などの問題が国際間の緊急な経済問題として、必ず登場してくるからです。そしてまた、この対外不均衡問題は単に現在の緊急問題というだけでなく、各国経済の相互依存関係が緊密となればなるほど、今後の国際経済の基本問題であり続けると思われます。相互依存の関係が密になることは、ある国の経済政策、産業構造、企業行動の変化が他の国に影響し合う度合が増すことです。そこで、ある国の経済に何らかの変化がありますと、他国の所得・雇用・物価・利子率などの主要経済変数が新しい条件に適應するように調整され、やがて新たな経済構造・産業構造・貿易構造が生み出されることになります。その調整がスムーズにいかないで、例えば、急速に没落する産業が生じたり、貿易収支が急激に悪化したりしますと、いろいろな摩擦が国際間に生じるわけです。

2. 累積債務問題

いまだ工業生産力の低い発展途上国では、貯蓄水準も低く資本蓄積も十分ではありません。このため対外経済収支も赤字になりがちですが、この赤字を賄い、しかも経済発展のための投資資金を賄うために、先進諸国などの海外から資金を調達するのが一般的です。しかし、この対外財務が次第に累積し、一向に改善の見通しがつかず、企業財務でいう返済不能の問題が生じているのが、いわゆる発展途上国の累積債務問題です。

この問題が1985年以降の原油など第一次産品価格の大幅下落と、アメリカをはじめとする先進国経済の景気停滞によって深刻さを増しました。最近、原油価格はやや上昇に転じ、世界景気も徐々に改善されてきていますが、貿易面で先進諸国に大きく依存している発展途上国にとって、第一次産品価格の動向と、先進諸国の景気や金利水準の動向は、短期的な外貨不足と長期的な返済能力という、二つの面をもつ累積債務問題の先行きに

直ちに影響する不安定要因です。しかも、国際金利も世界景気の動向も、ほとんど先進諸国の経済環境から決定されるとすれば、発展途上国側に不満が残るのも理解できることです。例えば、金利の急騰があれば、彼らにとって金利支払額の急激な拡大となりますから、ちょうど「石油ショック」と同じ意味で「金利ショック」に他なりません。これによって短期的な債務の返済が不可能ともなれば、直ちに国際金融上の攪乱要因となることは確実です。

実際、理論的にも、ある開放経済が発展途上国の段階からスタートして、成熟した工業国に発展するまでの間に、国際収支の構造も、資本輸入国、資本輸出国、さらに成熟債権国へとほぼ規則的に変化する傾向があるといわれています。

ところで、累積債務問題が厄介なのは、ラテン・アメリカとアジアの債務国では事情が著しく異なる上に、同一地域内でも、これが単なる経済問題に止まらず、政治問題化している点です。特に、国際機関や民間債権銀行団との債務返済交渉では、各債務国の政治的・社会的状況が入り込み、政治ゲーム的要素が濃厚となってきました。このため簡単には有効な救済案が打ち出せていません。債権国・債務国双方の対応に協力性を欠く、硬直的独善性が見られるのが実情といえそうです。

現在の国際経済をどう読むかについて、先進諸国を中心とする短期的な対外不均衡問題とならんで、この発展途上国の累積債務問題がもう一つの長期的な対外不均衡問題として、重要な問題であると考えられるのは以上の理由からです。

【注 釈】

1. GNPは英文“Gross National Product”の縮写、こくみん 日文是：「国民

総生産」, 译成中文是: 国民生产总值。

2. 石油ショック——石油冲击。1973 年 10 月阿拉伯各国采取了减少石油产量的措施, 并将石油价格提高两倍。这给世界经济带来了极大的影响。也称为第一次石油危机。

3. OPEC 是英文“Organization of Petroleum Exporting Countries”的缩写, 日文是「(アラブ)石油輸出国機構」, 简称“オペック”。译成中文是: 石油输出国组织, 或称欧佩克。

4. 第二次石油危機: 1978 年末以后, 石油供需紧张, 原油价格急剧上涨, 每桶石油由 12.7 美元上升到 32.5 美元。

5. [动连体] ことになる

该惯用句型表示某事物状态的发展趋势、必然结果或合乎逻辑的结论。可译为“将……”; “会……”; “(结果) 等于……”; “就是……”。如:

わたしが沈黙を守るとすれば、それはいたずらに兄を苦しめることになる。

あなたの言っていることは、結局は「実行不可能」ということになりますか。

6. [体言] をもってしても……

该惯用句型, 一般后接否定。用于书面语。可译为“尽管……也(没)……”; “即使用……也不能……”。如:

彼の医術をもってしても、この病気をなおすことはできなかった。

いかなる説得をもってしても、彼は田舎から離れることを承知しなかった。

7. [体言・动连体] (だけ) にとどまらず (或とどまらない)

该句型表示限度、范围。常与“たんに”相呼应, 可译为“不……而且……”; “不只……”。如:

これはクラスだけの問題にとどまらず、学校全体の問題だ。
たんに決意を示したにとどまらず、実際行動に移した。
これはたんに個人に対する評価の問題に止まらない。
8.“見通しがつかず”——很难预料。

【会 話】

出迎え

ちんこう
陳光：杉本さん、よくいらっしゃいました。

すぎもと
杉本：わざわざ出迎えくださりまして、ありがとうございます。
ご紹介します。こちらは営業部部長の坂田です。

陳光：ようこそおいでくださいました。

きかだ
坂田：わざわざお出迎え恐れ入ります。私の名刺です。どうぞ
よろしくお願いいたします。

陳光：はじめまして、陳光と申しますが、どうぞよろしくお願
いいたします。今日お会いできて嬉しく存じます。

杉本：こちらは久保です。今度、会社が我々を商談のため大連
に派遣しました。

くほ
久保：はじめまして、久保と申します。どうぞよろしくお願
いいたします。

陳光：こちらこそどうぞよろしくお願いいたします。皆様はも
うお疲れでしょう。

久保：いいえ、いい天気^{のぐ}に恵まれて、空の旅は大変快適^{かいてき}でした。

陳光:そうですね。ある程度ストレスの解消^{かいしょう}になるかもしれませんね。

坂田:なるほど。

陳光:ところで、お荷物は全部そろいましたか。

杉本:はい、そろいました。全部で4個です。

陳光:お忘れ物はございませんね。

三人:はい、ありません。

陳光:では、車を呼んでまいりますので、少々お待ちください。

坂田:どうもありがとうございます。

陳光:お待たせしました。坂田部長、どうぞ、お乗りください。

坂田:どうも、失礼いたします。いろいろご親切に、本当にありがとうございました。

陳光:どういたしまして。

〈関連表現〉

1. みなさまのおいでをお待ちしております。

(我们正在恭候各位的光临。)

2. 皆さん、遠路^{えんろ}はるばる、ようこそいらっしゃいました。

(欢迎各位远道而来。)

3. 皆様に熱烈な歓迎の意を表したいと存じます。

(对各位的来访表示热烈的欢迎。)

4. 今日はここでお会いすることができて、誠に嬉しく存じます。

(今天能在这里见面,感到十分高兴。)

5. 皆様のご来訪が順調に行われ、円満^{えんまん}に成功されますようお祈り申し上げます。

(預祝各位來訪順利,圓滿成功。)

6. お忙しいところわざわざお出迎えいただきまして、本当にありがとうございます。

(百忙中您特意前來迎接,非常感謝。)

7. わざわざお出迎えどうもすみませんでした。

(特意來迎接,非常抱歉。)

8. お忙しいのに遠いところお出迎えいただきまして、どうもありがとうございます。

(百忙中您遠道來迎接,太感謝了。)

9. わざわざ大連からお出迎えいただきまして本当に恐れ入ります。

(您特意從大連來接,太過意不去了。)

10. 飛行機が遅れたため、長い間お待たせいたしまして本当にすみませんでした。

(飛機晚點,讓您久等了,真對不起。)

【閱 讀】

現行の國際經濟秩序

外國貿易が發展途上國の經濟開發に対していかなる役割をはたすのかという問題に関しては、以上のように三つの異なる理論的潮流があるが、このうち發展途上國の立場から戦後の國際經濟体制の不平等性を指摘し、南の諸要求に対して、その理論的基礎と政策指針を与えたのは、プレビシュらに代表される理論潮流であったといつてよい。では現行の國際經濟秩序はいか